

1. 科目名 (単位数)	小児医学特論 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP5326						
2. 授業担当教員	横田 俊平								
4. 授業形態	講義および文献講読、討論	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	特になし	履修形態 (通信教育)	R						
7. 講義概要	わが国では、病児・病後児保育事業がはじまったが、感染症に対する対応がまちまちで、まだ効果が充分にでていない。看護師が「看護診断」をすると同様に、勤務する保育士にも「保育診断」をすることが求められている。そこで、本講では、小児科領域の病気に関する知識を学ぶと同時に、病気に対応する実践力を身につけていただきたい。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 先天異常について解説することができるようになる。</li> <li>2. 新生児の病気について説明することができるようになる。</li> <li>3. 代表的な感染症について説明することができるようになる。</li> <li>4. 呼吸器・循環器・消化器の病気について説明することができるようになる。</li> <li>5. 発達障害について解説することができるようになる。</li> <li>6. 救急法について解説し、実践することができるようになる。</li> </ol>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p><b>宿題:</b> [各宿題は、A4判、横書き、明朝体 10.5 ポイント、2 ページ (1 ページあたり 40 字×39 行) にまとめて下さい。]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新生児感染症を起こす病原について記述してください。(テーマ4 終了時に提出すること) 新生児感染症は、診断がむずかしく手遅れになりやすい。一命を取り留めても障害を残します。その病原を知っておくことは大切です。</li> <li>2. 染色体異常症について記述してください。(テーマ4 終了時に提出すること) 常染色体の異常と性染色体の異常に分けて、記述してください。</li> </ol> <p><b>レポート課題:</b> [各レポートは、A4判、横書き、3 ページ (1 ページあたり40字×39行) にまとめてください。]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 先天性心疾患について記述してください。(テーマ9 終了時に提出すること)</li> </ol>								
10. 教科書・参考書・教材	<p><b>【教科書】</b> 内山聖監修、原寿郎、高橋孝雄、細井創編集『標準小児科学 第8版』医学書院、2013 随時プリントを配布する。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 小児期に多い感染症、食物アレルギー、先天異常についての知識を修得し、説明できることが求められている。レポート課題、宿題で評価する。</p> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>レポート課題</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>宿題</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>受講態度</td> <td>10%</td> </tr> </table>			レポート課題	50%	宿題	40%	受講態度	10%
レポート課題	50%								
宿題	40%								
受講態度	10%								
12. 受講生へのメッセージ	小児期は、出生から成人になるまでの期間、つまり成長・発達している期間である。その間に、子どもたちは、沢山の疾患に罹患する。本講では、内容はかなり難しいけれども、集中して取り組んでほしい。そうすることによって、必ず成果が出てくると思う。								
13. オフィスアワー	授業時に周知する								
14. 学習の展開及び内容	【テーマ, 学習の目標, 学習の内容, キーワード, 学習の課題, 学習する上でのポイント等】								
1. テーマ	小児医学の概要								
	<p><b>【学習の目標】</b> 小児期にどんな病気があるかを説明することが出来る。</p> <p><b>【学習の内容】</b> 1) 出生前期にみられる病気について学ぶ。 2) 新生児期、乳児期、幼児期にみられる病気について学ぶ。 3) 学童期、思春期にみられる病気について学ぶ。</p> <p><b>【キーワード】</b> 出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期、病気</p> <p><b>【学習する上での留意点】</b> 小児保健学、小児医学、小児科学の違いについて理解を深めてもらいたい。</p>								
2. テーマ	出生前小児科学 (1) 遺伝子病、染色体異常、胎芽病、胎児病								
	<p><b>【学習の目標】</b> 出生前期にみられる病気について解説することができるようになる。</p> <p><b>【学習の内容】</b> 1) 遺伝子病について学ぶ。 2) 染色体異常について学ぶ。 3) 胎芽病、胎児病について学ぶ。</p> <p><b>【キーワード】</b> 遺伝子病、染色体異常、胎芽病、胎児病</p>								

	<p>【学習の課題】 1) 優性遺伝と劣性遺伝の病気について論述せよ。 2) 皮膚紋理について論述せよ。 3) 胎芽病について論述せよ。</p> <p>【学習する上での留意点】 発生のどの段階で、胎児が障害されると、先天異常が生じるか考えてみよう。</p>
3 . テ ー マ	出生前小児科学 (2) 先天異常について
	<p>【学習の目標】 先天異常の発生要因について、解説することが出来るようになる。</p> <p>【学習の内容】 1) 先天性代謝異常症について学ぶ。 2) 先天異常の発生要因について学ぶ。 3) 外表奇形について学ぶ。</p> <p>【キーワード】 先天性代謝異常症、 先天異常の発生要因、 外表奇形</p> <p>【学習の課題】 1) タンデムマス法を用いた新生児マススクリーニングについて論述せよ。 2) 先天異常の発生要因について述べよ。 3) 外表奇形について論述せよ。</p> <p>【学習する上での留意点】 新しい新生児マススクリーニング (タンデムマス法) について整理しておくといよ。</p>
4 . テ ー マ	新生児期の医学： 適応障害、黄疸、感染症
	<p>【学習の目標】 子宮内の生活から子宮外の外界へ環境が変わるため、呼吸も循環もすばやく適応していかななくてはならない。その適応について学ぶと同時に、適応障害についても理解を深め、解説することができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 1) 呼吸器系の適応について学ぶ。 2) 循環器系の適応について学ぶ。 3) 胎児循環と成人循環の相違を理解し、知識を深める。</p> <p>【キーワード】 サーファクタント、第一呼吸、胎児循環、ボタロー管、卵円孔、胎児型ヘモグロビン、新生児生理的黄疸</p> <p>【学習の課題】 1) 呼吸器系の適応障害について述べよ。 2) 循環器系の適応障害について述べよ。 3) 肺胞細胞とサーファクタントとの関係について論ぜよ。</p> <p>【学習する上での留意点】 出生後に胎児循環から成人循環にかわる機序を理解することは大切である。</p>
5 . テ ー マ	小児期の栄養： 母乳哺育、離乳食のすすめ方 (離乳の基本)、人工栄養、間食
	<p>【学習の目標】 母乳哺育の重要性を解説することができるようになる。 離乳の基本について解説することができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 1) 赤ちゃんにやさしい病院について学ぶ。 2) 人工栄養について学ぶ。 3) 離乳食のすすめ方について学ぶ。</p> <p>【キーワード】 母乳哺育、離乳食のすすめ方、間食</p> <p>【学習の課題】 1) 完全母乳栄養の意義について論述せよ。 2) 離乳食について論述せよ。 3) 幼児期の間食の必要性について述べよ。</p> <p>【学習する上での留意点】 母乳哺育(Breastfeeding)、母乳栄養、母乳保育の違いについて整理しておく。</p>
6 . テ ー マ	診断と治療の概要： 診断法、薬物療法、救急蘇生法
	<p>【学習の目標】 診断法や薬物療法について、解説できるようになる。</p> <p>【学習の内容】 1) フィジカルアセスメントについて学ぶ。 2) 治療法の概要について学ぶ。 3) 薬物療法について学ぶ。</p> <p>【キーワード】 フィジカルアセスメント、薬物療法、救急蘇生法</p> <p>【学習の課題】 1) フィジカルアセスメントについて述べよ。 2) 薬物療法について述べよ。 3) 外用薬の使い方について論述せよ。</p> <p>【学習する上での留意点】 救急法 ABC と AED について実践しておくことが大切である。</p>
7 . テ ー マ	感染症 (1) 小児感染症の特徴、感染症法と類型、発疹を伴う感染症
	<p>【学習の目標】 小児感染症の特徴について解説することができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 1) 感染症法の類型について学ぶ。 2) 発疹を伴う感染症について学ぶ。</p> <p>【キーワード】 小児感染症、感染症法、発疹性感染症</p> <p>【学習の課題】 1) 小児感染症の特徴について論述せよ。 2) 発疹を伴う感染症について論述せよ。</p> <p>【学習する上での留意点】 発疹の性状による分類が大切。病原別に整理しておく。</p>
8 . テ ー マ	感染症 (2) 節足動物媒介感染症、母子感染症、(寄生虫症)
	<p>【学習の目標】 母子感染症について説明できるようになる。</p> <p>【学習の内容】 1) 節足動物媒介感染症について学ぶ。 2) 母子感染症について学ぶ。</p>

	<p>3) 寄生虫症について学ぶ。</p> <p>【キーワード】 節足動物媒介感染症、母子感染症、寄生虫症</p> <p>【学習の課題】 1) 節足動物媒介感染症について論述せよ。 2) 母子感染症について論述せよ。 3) 寄生虫症について述べよ。</p> <p>【学習する上での留意点】 母子感染の感染経路について、分類し、整理しておくといよい。</p>
9 . テ ー マ	呼吸器、循環器の病気
	<p>【学習の目標】 呼吸器、循環器の病気について解説することができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 1) 上気道、下気道の病気について学ぶ。 2) 先天性心疾患（先天性）について学ぶ。 3) 肺炎について学ぶ。</p> <p>【キーワード】 呼吸器、循環器、上気道、下気道、肺炎、先天性</p> <p>【学習の課題】 1) 「かぜ」について論述せよ。 2) マイコプラズマ肺炎について述べよ。 3) 先天性をチアノーゼの有無による分類をし、解説せよ。</p> <p>【学習する上での留意点】 呼吸困難（吸気性、呼気性）と病気と結び付けて整理していくといよい。</p>
10 . テ ー マ	消化器の病気
	<p>【学習の目標】 消化器系の病気について解説することができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 1) 消化器系の奇形について学ぶ。 2) ウイルス性胃腸炎について学ぶ。 3) 腸内細菌叢（腸内フローラ）について学ぶ。</p> <p>【キーワード】 消化器系の病気、奇形、腸内細菌叢（腸内フローラ）</p> <p>【学習の課題】 1) 消化器系の奇形について述べよ。 2) ウイルス性胃腸炎について述べよ。 3) 腸内細菌叢について論述せよ。</p> <p>【学習する上での留意点】 腸内細菌叢とプロバイオテックスについてまとめておく。</p>
11 . テ ー マ	内分泌、代謝、腎臓の病気
	<p>【学習の目標】 内分泌、糖尿病、腎臓の病気について解説することができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 1) 内分泌の病気について学ぶ。 2) 糖尿病について学ぶ。 3) 急性腎炎について学ぶ。</p> <p>【キーワード】 内分泌障害、糖尿病、腎臓病</p> <p>【学習の課題】 1) 脳下垂体から分泌されているホルモンについて述べよ。 2) 糖尿病について述べよ。 3) 急性腎炎について述べよ。</p> <p>【学習する上での留意点】 インスリンを用いない糖尿病の治療について知識を整理しておくといよい。</p>
12 . テ ー マ	アレルギーの病気
	<p>【学習の目標】 アレルギー反応の分類について解説することができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 1) アレルギー反応の分類について学ぶ。 2) アレルギーの病気について学ぶ。 3) 食物アレルギーとアナフィラキシーについて学ぶ。</p> <p>【キーワード】 食物アレルギー、アレルギー反応、気象病、エビペン</p> <p>【学習の課題】 1) アレルギー反応の分類について述べよ。 2) アレルギー・マーチについて述べよ。 3) アレルギー性疾患の治療法について論述せよ。</p> <p>【学習する上での留意点】 気管支喘息と気象病についてまとめておくといよい。</p>
13 . テ ー マ	血液、造血器の病気
	<p>【学習の目標】 血液、造血器の病気について解説することができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 1) 血液をつくる仕組みを学ぶ。 2) 急性白血病について学ぶ。 3) 止血のメカニズムについて学ぶ。</p> <p>【キーワード】 血液、造血器、急性白血病、止血、貧血</p> <p>【学習の課題】 1) 急性白血病の分類と治療法について述べよ。 2) 貧血の診断について述べよ。 3) 鉄欠乏性貧血の治療法について述べよ。</p> <p>【学習する上での留意点】 貧血については、造血障害、溶血、失血に分けて考えるとよい。</p>
14 . テ ー マ	神経・筋、精神の病気、心身医学的問題
	<p>【学習の目標】 神経・筋、精神の病気、心身医学的問題について、解説することができるようになる。</p>

**【学習の内容】** 1) 筋ジストロフィー症について学ぶ。  
2) 自閉症スペクトラムについて学ぶ。  
3) 心身症について学ぶ。  
**【キーワード】** 筋ジストロフィー症、心身症、自閉症スペクトラム  
**【学習の課題】** 1) 筋ジストロフィー症について論述せよ。  
2) 自閉症スペクトラムについて述べよ。  
3) 心身症について述べよ。  
**【学習する上での留意点】** 小児期区分ごとに心身症をまとめておくとよい。

15. テーマ 「小児医学」のまとめ

**【学習の目標】** 小児医学全般について解説できるようになる。